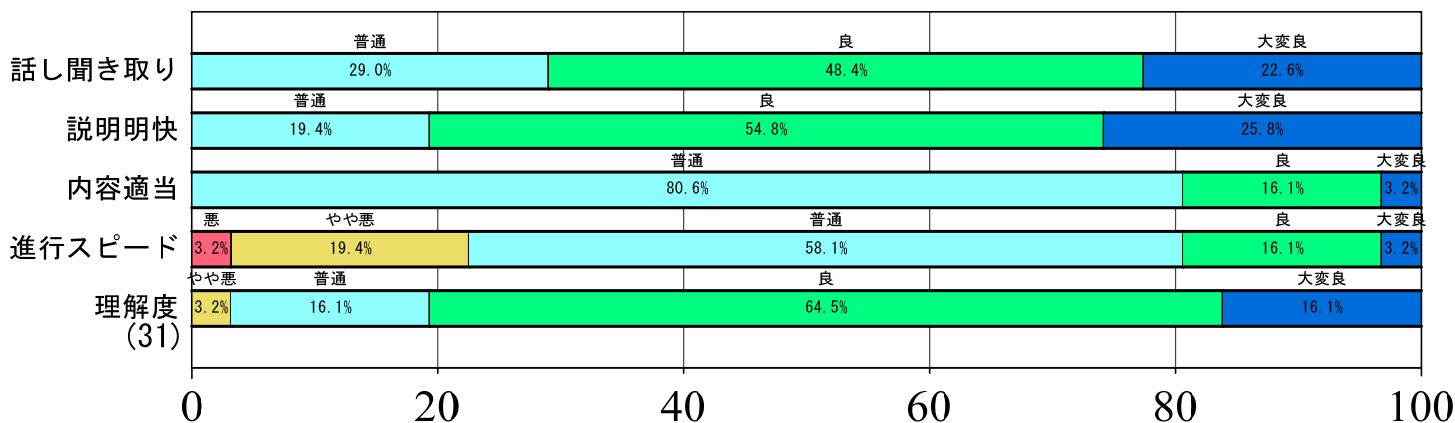


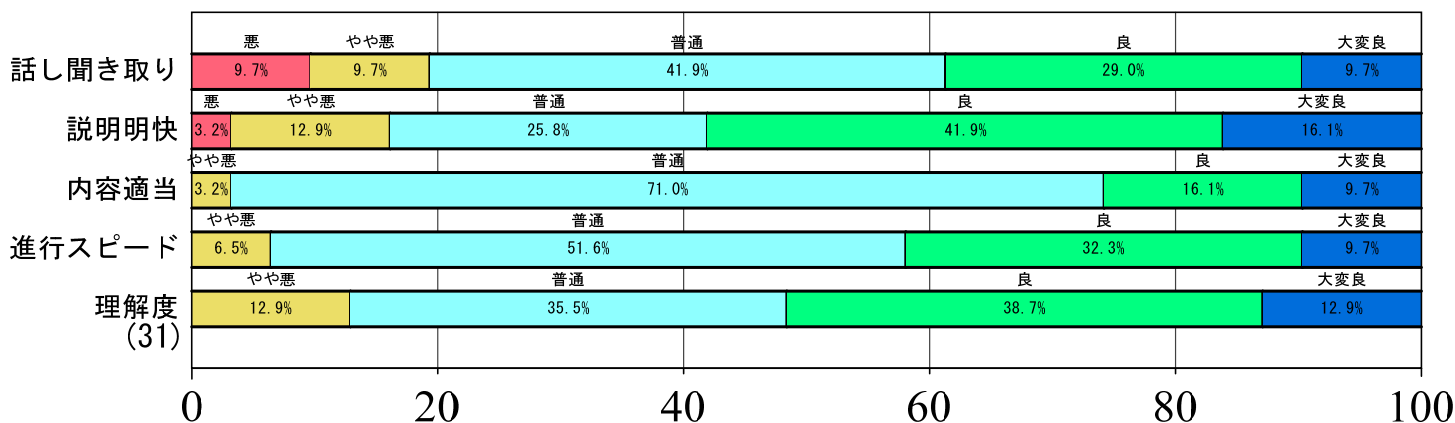
EBLM委員会企画

「第2回臨床検査医学のための多変量解析入門」受講者評価

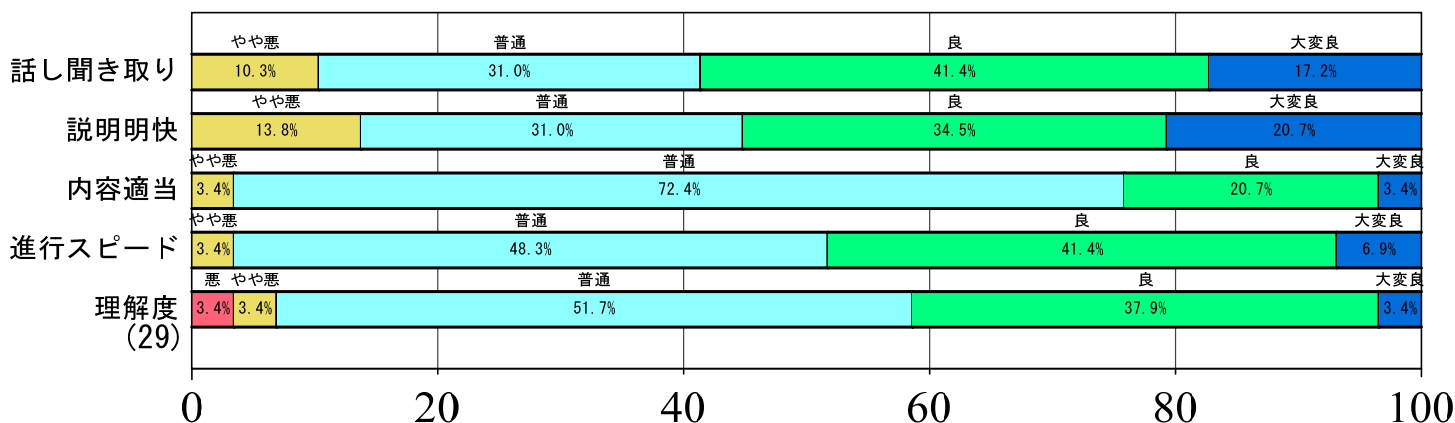
2009/8/29 於：札幌コンベンションセンター



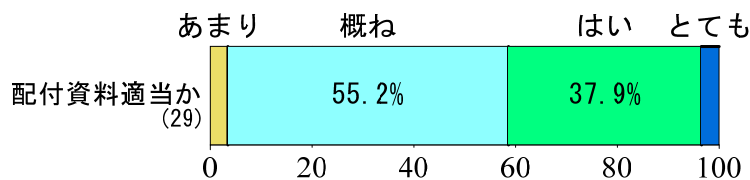
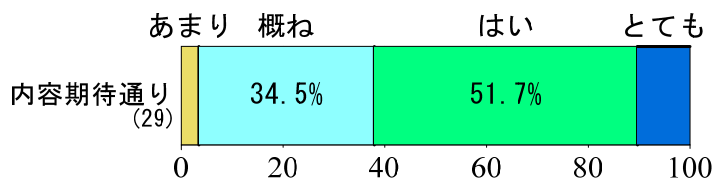
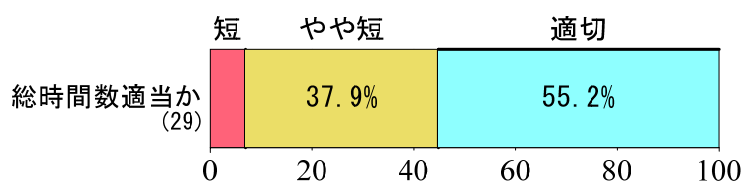
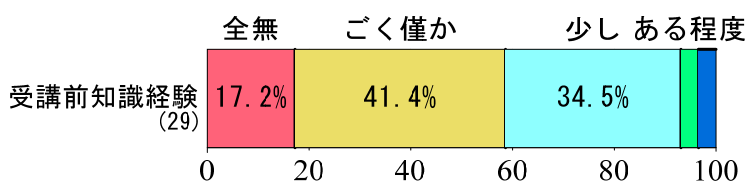
研究デザインと偏り



重回帰分析



多重ロジスティック回帰分析



■良かった点

- ・カラーの資料は見やすかった。
- ・非常に複雑と考えていた概念がだいぶ変えられた点。
- ・実際の演習があって、自分でスタットフレックスを使ってみる事ができて良かったです。スタッフが多くすぐ聞けて良かったです。
- ・講義、演習の組み合わせでよく理解できた。
- ・難しい点が多かったが、実際のソフトの使用法を教えてもらったこと、今後学習すべきポイント、自分の領域への応用をはかる点で大変有益であった。
- ・実例を用いた実習がある。
- ・例題が多くて適切であった。
- ・ソフトによりビジュアル化され良かった。
- ・理解しやすく詳しく説明していただいた。
- ・例題とデモデータが良かった。
- ・ソフトインストールのためには、早く来るようにとの事前メール。
- ・定時に終わった。
- ・実際手を動かしながら、教えていただきとても解りやすかった。
- ・ソフトの使い方を理論と合わせて説明していただいたのでわかりやすかった。
- ・とてもすばらしいレフチャーでした。実際のデータを使って活用できたので、勉強になりました。本を読んでもよくわからなかったのです。
- ・事例を使った演習が非常に理解を助けた。
- ・StatFlex を今回初めて使ったが、データの可視化についてすばらしいと思った。
- ・これまでは良くわからないまま解析をしていたが、セミナーを受講したことで理論や得られた解析データの読み方、解析するうえでの注意点等、得る物が非常に多く参加して良かった。

■改善してほしい点

- ・テキストにもう少し解説を加えて欲しい。
- ・基本を勉強するための本を推薦してほしい。
- ・もう少し時間をかけて受講できればと思いました。
- ・スタットフレックスを使った、統計手法別の簡便なテキストなど発行していただけるとうれしいです。
- ・配布資料と表示スライドは同じものに。
- ・テキストを事前に見て予習ができた方が良かった。
- ・ソフトは当日のみのパスカードでなく、3ヶ月程度使用できるようにしてほしい（前回のよう）。
- ・演習問題があってもよいと思う。
- ・ソフトの説明書として詳しいものをいただきましたかった。
- ・東京、大阪、名古屋あたりで開催して欲しい。
- ・上記にもかかわらず遅く来た参加者は区別すべし。他の進行に支障。
- ・時間配分。
- ・昼食の用意。説明より実際のデータを多様にしてほしい。
- ・時間配分。説明と実習内容の順番：実習中心になる講義に重みがあるのでは。
- ・日程的に学会中日にやっていただいた方が良いのですが（無理でしょうね）。飛行機の時間が気になったもので。
- ・帰って復習できるように、演習が問題と解答に整理されると良かった。
- ・今回の PPT で提示された資料のうち、配布されていたものがあつた。すべて配布していただいた方が良かった。数理的根拠をもう少し触れていただければなお良かった。
- ・スクリーンが良く見えなかった。時間が足りない。もっとじっくりやりたい。

■EBLM 委員会で今後企画してほしいセミナーのテーマ

- ぜひ次回を楽しみにしています
- とても勉強になりました。今日参加してよかったです。有り難うございました。
- 統計の継続。
- 多数の例をお願いします。
- 精度管理
- 縦断的研究、コホート研究解析。
- いくつかのテーマで年3回くらい統計セミナーをしてほしい（参加者の交通の便を考えて、できれば東京、大阪、名古屋あたりで）。
- 統計内容を論文に記載する時の注意事項。
- 検査基準値の設定の仕方など。
- 今回と同じものでも良いと思います。こういったテーマの講義はあまり他にはないので。
- 参加者の統計学的な背景が異なったためであろうか、基本的なことからの説明であったが、この点をはぶいてアドバンスコースを是非とも実施していただきたい。
- この手のソフトの利用者の持っている問題の多くは、検定についても統計量についても数理を理解せずに、ブラックボックスになってしまっている点だと思う。
- 初心者向けのセミナーもあってもよいのでは。演習をメインにしたセミナーもあると良い。個別のコンサルテーションを受けるシステムもあると便利。